保　証　書

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で保証期間内に故障した場合には無償での修理または交換（同等製品での交換も含む）いたします。お買上げの販売店に製品を本保証書とともにご持参ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償での修理または交換（同等製品での交換も含む）となります。
   (a)お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
   (b)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
   (c)火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障または損傷。
   (d)本保証書のご提示がない場合。
   (e)本保証書に品番、製造番号、お買上げ年月日、お客様名、住所、販売店名の記入がない場合、あるいは記入内容を改ざんされた場合。
3. 修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費など、またはご郵送される場合の郵送料金及び諸掛かりは、お客様のご負担となります。なお、故障の内容によりましては、修理にかえて同等製品と交換することもあります。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only for Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　番	NQL-R4A3	製造番号	
保証期間	お買上げ　　　年　　　月　　　日より6カ月間		
お客様	ご住所 〒 TEL 様		
販売店	住所・店名・TEL		

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

ナカバヤシ株式会社
お客様相談室　受付時間/土・日・祝日を除く
TEL:0120-166-779 10:00~12:00/13:00~17:00
https://www.nakabayashi.co.jp/

21.04

QUICK LAMI R4

Nakabayashi

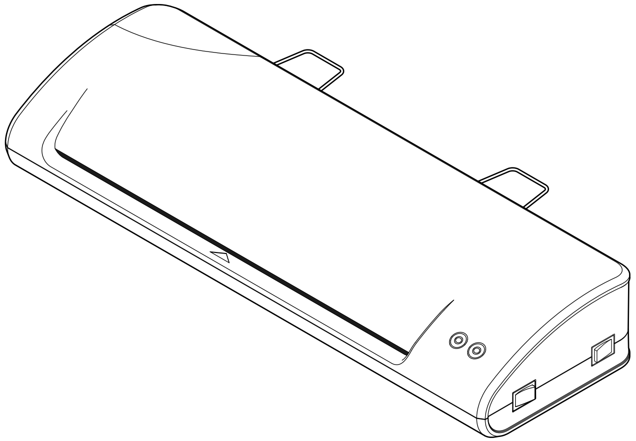
パーソナルラミネータ
クイックラミR4 4本ローラー
NQL-R4A3

取扱説明書

●保証書付●

この度は、パーソナルラミネータ クイックラミR4 4本ローラー NQL-R4A3をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- ●この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- ●本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- ●お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。

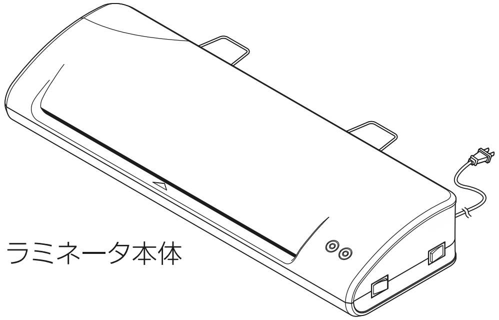


目次

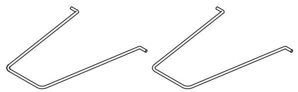
目次・梱包内容の確認 ---------- P.1
安全上の注意事項・機械の設置上の注意事項 ---------- P.2～3
各部の名称と働き ---------- P.4
ラミネートについて・ラミネートする前のご注意 ---------- P.5
ラミネートを行う①　～ラミネートフィルムの準備 ---------- P.6
ラミネートを行う②　～ラミネータの準備 ---------- P.7
ラミネートを行う③　～ラミネートの開始 ---------- P.8
ラミネートを行う③　～ラミネートの終了・ローラークリーニング ---------- P.9
フィルムづまりのトラブル ---------- P.10
故障かな？と思ったら　トラブル時のチェックポイント ---------- P.11～12
本体のお手入れ・ラミネートQ&A ---------- P.13
主な仕様 ---------- P.14
保証書 ---------- 裏表紙

梱包内容の確認

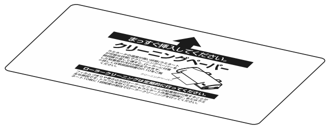
下図のとおり、本体および付属品が同梱されていることをご確認ください。



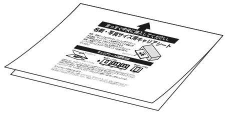
ラミネータ本体



ワイヤータイプトレー
（2本1セット）



クリーニングペーパー
（1枚）



名刺・写真サイズ用
キャリアシート
（1枚）

取扱説明書/保証書
（本書）

主な仕様

品番	NQL-R4A3
本体寸法	W454×D150(245)×H78mm ()はワイヤータイプトレーを含む
本体重量	約2.7kg
最大ラミネート幅	340mm
最大ラミネート厚	0.6mm（フィルムと原稿を合わせた厚み）
対応フィルム	100μm（薄紙・厚紙）· 150μm（薄紙）
電圧・周波数	100V · 50/60Hz
消費電力	1400W（50/60Hz）
ラミネート速度	約398 · 478mm/分（50 · 60Hz）
ウォームアップ時間	約40秒(50/60Hz)
温度設定	100μmと150μmの2段階切替え
コードの長さ	約1.2m
主要材質	ABS・スチール
付属品	ワイヤータイプトレー（2本）、クリーニングペーパー（1枚）、名刺・写真サイズ用キャリアシート（1枚）

※ 改良のため予告なく仕様・外観を変更することがあります。
※ 本製品は業務用ではありません。
※ ウォームアップ時間は室温が約25℃、100μmの温度設定の場合です。
※ 仕様の数値は使用条件などにより変化する場合があります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
お子様だけでの使用や乳幼児の手の届く所での使用は避けてください。 やけど、感電の恐れがあります。
本機の分解や改造はおやめください。ケガや感電の恐れがあります。
本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
電源コード・プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因になります。
機械のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因になります。
機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、弊社または販売店にご相談ください。
コードに触れて通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源スイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いて弊社または販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

⚠注意　●機械のご使用上の注意事項

使用中の機械上部およびラミネート直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
髪の毛、ネクタイ、ネックレス等の巻き込まれる危険のある物は、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
長時間機械をご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ラミネート作業中はそばを離れないでください。
ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因になります。
30分以上連続で使用しないでください。30分経過後は、20分以上電源スイッチを「OFF」の状態で休ませた後、再度ご使用ください。本製品は業務用ではありません。
本機の電源が入ったまま約30分以上経過した場合は、自動休止機能が作動し、ランプが消灯、ローラーが停止、温度が下がります。再度ご使用になる場合は、電源スイッチを一度「OFF」にしたあと、再度電源を入れてください。

・仕上がりが白っぽい	⟶ フィルム厚の設定を原稿の厚みに合わせてください。 P.7
・密着性が悪い	⟶ READYランプ（緑）が点灯してからご使用ください。消灯したら点灯するまでしばらくお待ちください。 P.8 ⟶ 原稿が厚いと原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。 P.6
・仕上がりに白い線が数本入る	⟶ ウォームアップ後3分以上待ってローラーが十分に温まった状態にしてからご使用ください。 P.8
・フィルムにシワが発生する	⟶ 原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生する場合があります。 P.6 ⟶ 原稿の紙質によっては、熱による収縮によってシワが発生する場合があります。 ⟶ 湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 ⟶ 厚手の原稿に150 μmのフィルムを使用すると、十分に密着しない場合があります。100 μmのフィルムをご使用ください。150 μmのフィルムでラミネートできるのは薄紙のみです。 P.7 ⟶ 反り・折れ・シワのあるような紙はきれいにラミネートできません。 P.6 ⟶ 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 P.6 ⟶ フィルムは原稿よりも2〜5mm大きいものをご用意ください。 P.6 ⟶ フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、排出口から無理に引っ張ったりしないでください。 ⟶ 排出口から出てきたフィルムは速やかに取り出してください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 P.8 ⟶ エアコンの冷風や温風が直接本機にあたらないようにしてください。 ⟶ 必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないと正しくラミネートできません。 P.6
・POWERランプ（赤）とREADYランプ（緑）が交互に点滅する ・POWERランプ（赤）が消灯しREADY（緑）ランプが点滅する	⟶ 本体に異常があります。弊社または販売店にご相談ください。

いずれの異常もなく、正しくご使用いただけない場合には電源スイッチを「OFF」にして電源プラグを抜き、弊社または販売店にご相談ください。

ラミネートについて

ラミネート　➡ P.6～

ラミネートとは、専用のパック式フィルムに原稿をはさみ込み、熱でフィルム内側の粘着剤を溶かすと同時にローラーの圧力で原稿に接着することを言います。一度に裏表両面がラミネートされます。

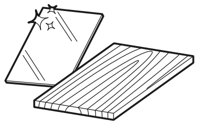
特長

・ラミネートするとフィルムがプラスチックのように丈夫になり、原稿を水・汚れ・傷等から守ります。また、偽造防止効果も高まります。
・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で、美しいラミネートが可能です。

ラミネートできないもの

次のようなものはラミネートしないでください。

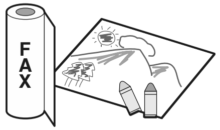
紙以外の物



金属・木・ガラス・プラスチックの板や布等

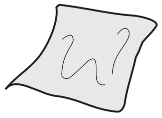
クレジットカード等の磁気カード

熱により変色・変質する物



感熱紙・クレヨン画等

可燃物・軟化しやすい物



セロハン･ビニール製品等

その他、先端が尖った物、折れ曲がっている物、厚い物、立体物等

⚠注意

昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をラミネートすると、ラミネートのいかんに関わらず時間が経って像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

一度ラミネートした物をはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗すると、フィルムがつまって故障の原因になる場合があります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

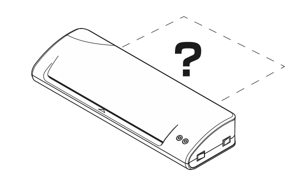
⚠注意

・たった一枚しかないような大切な物はラミネートしないでください。
・本機の使用による原稿等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

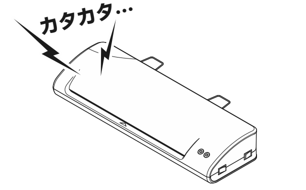
フィルムづまりのトラブル

ローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムがつまってしまうことがあります。下図のような状態の時は、すぐにリバーススイッチを押し続けてください。フィルムが取り除けない場合は、電源スイッチを「OFF」の状態にして、弊社または販売店にご相談ください。

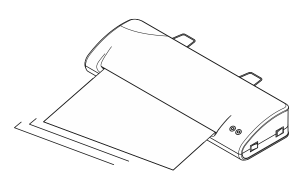
フィルムが出てこない



・途中で止まった
・カタカタ異音がする



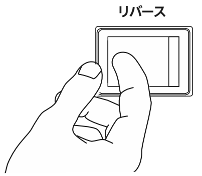
斜めに入れてしまった



⚠注意　ラミネート作業中はそばを離れないでください。上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になったり、機械の故障や火災の原因になります。
また、フィルムがつまっている状態のときにクリーニングペーパーを挿入しないでください。状態が悪化することがあります。

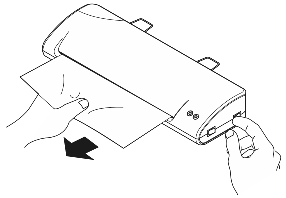
つまったフィルムの取り除き方

1.リバーススイッチを押し続けます



フィルムがつまった場合は、リバーススイッチを押し続けます。スイッチを押しているあいだはローラーが逆転します。
電源プラブをコンセントから抜いてください。

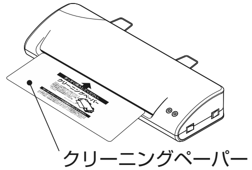
2.フィルムを引っ張りながら取り除きます



リバーススイッチを押し続けた状態で、フィルムを引っ張りながら取り除きます。

フィルムは高温になっていますのでやけどには十分ご注意ください。

3.ローラークリーニングを行います



フィルムを取り除いた後は必ずローラークリーニングを行ってください。フィルムがつまると多くの粘着剤がローラーに付着するので、そのまま使用を続けるとフィルムづまりが起こりやすくなります。

【➡ P.9「ローラークリーニング」参照】

上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

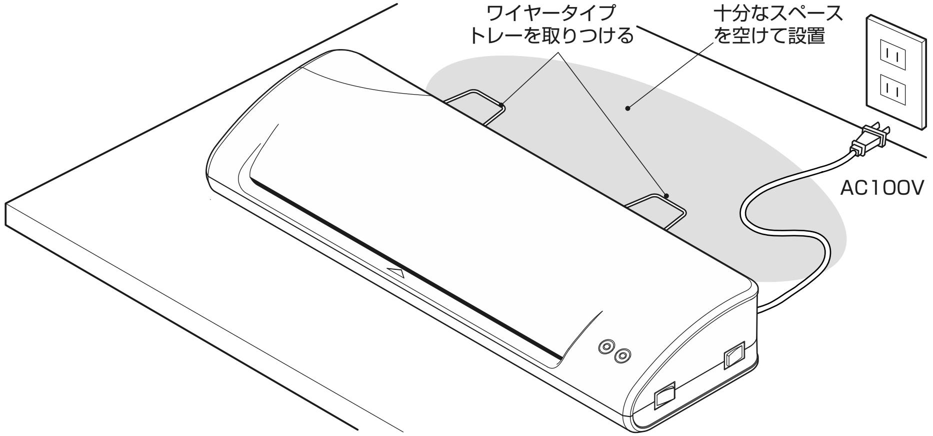
ラミネートを行う②

ラミネータの準備

1.ラミネータを設置します

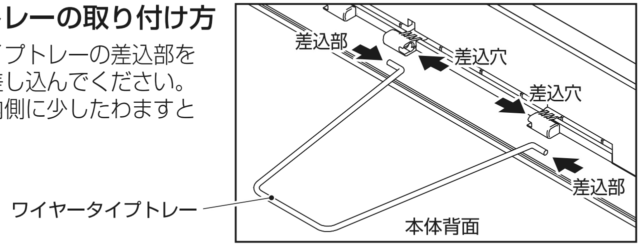
・ラミネータを水平な場所に設置します。
・電源プラグをコンセントに差し込みます。消費電力が大きいため単独の電源を確保してください。
※タコ足配線は絶対に避けてください。

⚠注意 **ラミネータの後ろのスペースを十分に空け、ラミネートされて出てきたフィルムが壁等の障害物に当たらないようにしてください。**

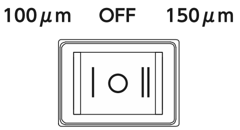


ワイヤータイプトレーの取り付け方

付属するワイヤータイプトレーの差込部を本体背面の差込穴に差し込んでください。
※ワイヤートレーは内側に少したわますと取り付けられます。



2.電源スイッチを使用するフィルム厚に合わせます



電源スイッチを「100μm」または「150μm」のいずれかに合わせます。ラミネータ内部のローラーが回転し、POWERランプ(赤)が点灯します。

100μmと150μmの使い分け方は以下の通りです。
・100μmフィルム+薄紙→100μmに設定してください。
・100μmフィルム+厚紙→100μmに設定してください。
・150μmフィルム+薄紙→150μmに設定してください。

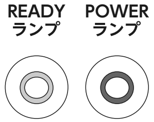
●原稿の例　薄紙：コピー用紙・カタログ・雑誌等、厚紙：写真・ハガキ・画用紙・名刺等

※写真等の厚紙の場合、紙質により100μmの設定では環境温度によってローラーが熱不足(仕上がりが白っぽい等)になることがありますので、その際は150μmの設定をお試しください。
※本機は「150μm+厚紙」のラミネートには対応していません。

ラミネートを行う③

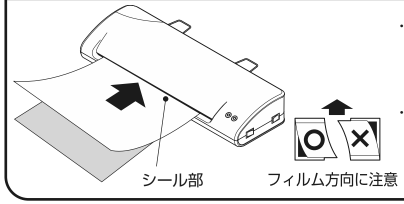
ラミネートの開始

3.READYランプ(緑)が点灯するまで待ちます



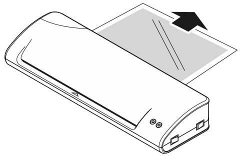
約40秒後にREADYランプ(緑)が点灯します。
ウォームアップ時間は室温や温度設定により異なります。
・記載の時間は室温が約25℃で100μm+薄紙の場合です。
・内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生しますが、使用上の問題はありません。

4.READYランプ(緑)が点灯したらフィルムを挿入します



・原稿をはさんだフィルムをサイズ表示を目安にしてフィルム挿入口からまっすぐに入れます。ローラーにフィルムがあたると自動的に送り込まれます。
・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルムづまりの原因となります。
必ずフィルムのシール部側から挿入してください。

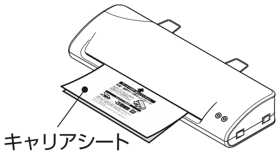
5.フィルム排出口よりラミネートされて出てきます



フィルムが背面のフィルム排出口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。
ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。

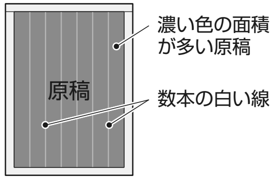
・ラミネート後は速やかにフィルムを取り出してください。フィルム排出口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので、取り扱いにご注意ください。
・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。またREADYランプ(緑)が消えた場合は、再度点灯するまでお待ちください。

補足説明1.名刺・写真サイズ用キャリアシートについて



・名刺や写真サイズなどの小さいフィルムをラミネートする場合、左図のように付属のキャリアシートを使用することで容易に且つ効率的なラミネートを行うことができます。
・キャリアシートを使用する際は「150μm」の設定でラミネートしてください。※フィルムは100μmをご使用ください。
・付属のキャリアシートに記載されている使用方法に従ってご使用ください。

補足説明2.濃い色の面積が多い原稿をラミネートする場合



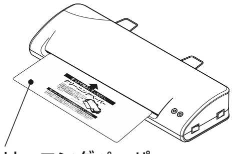
ローラーガードワイヤー構造について

本機はフィルムの巻き込みを防止するためローラーにワイヤーが取り付けられています。そのため、室温が25℃以下や本体が冷えている状態で「濃い色の面積が多い原稿」をラミネートした場合、仕上がりに左図のような白い線が数本入ることがあります。その際はウォームアップ後3分以上待ってローラーが十分に温まった状態にしてからご使用ください。

ラミネートを行う③

ラミネートの終了

6.ローラークリーニングを行います



・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
・一度にたくさんラミネートする場合は、10枚に1回程度の割合でローラークリーニングを行ってください。

【 P.10「ローラークリーニング」参照】

7.ラミネータの終了

・電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
「READYランプ」および「POWERランプ」が消灯し、ローラーの回転が停止します。
・本体が十分に冷えてから保管してください。

ローラークリーニング

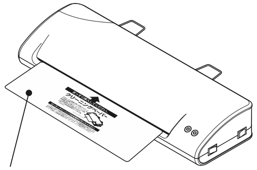
ローラークリーニングを行わないと…

・フィルムづまりが起きる
・フィルムの先端が折れてラミネートされる
・ラミネートした物に汚れ(白い線)が付着する

▶ これはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着するためです。

このようなトラブルを防ぐためにも､定期的にローラークリーニングすることをおすすめします。

・クリーニングの方法
ラミネータの温度が高い状態(通常のラミネートが可能な状態)で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から入れてください｡これを数回繰り返すと､ローラーに付着した粘着剤が取り除かれ､ローラーがクリーニングされます。



・クリーニングを行う頻度
ラミネート作業が一通り終了するごとに、また一度にたくさんラミネートする場合は10枚に1回程度の割合でローラークリーニングを行ってください。

⚠注意 **クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部でつまり、故障の原因になります。**

クリーニングペーパーがなくなったら

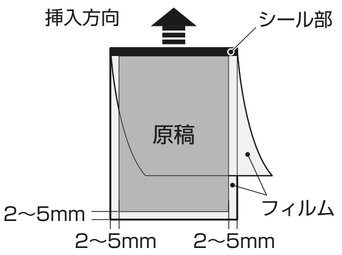
付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙(無地)で代用することができます。ただし、プリンターやコピー機で出力された物やコーティングがされている物は避けてください。
なお、クリーニングペーパーに付着した粘着剤の汚れはクリーニングペーパーが冷めたあとに、綺麗な布等で擦るとある程度取れて再度利用が可能になります。

ラミネートを行う①

ラミネートフィルムの準備

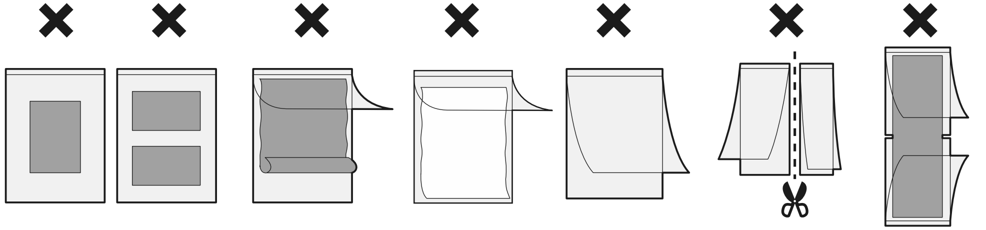
⚠注意 **フィルムは必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。
フィルムの特性が合わないと、シワの発生やフィルムづまりの原因となります。**

ラミネートフィルムに原稿をはさみます



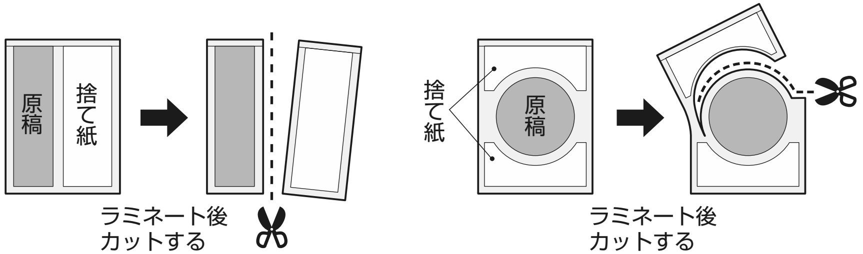
・ラミネートフィルムは原稿よりも2〜5mm程度の大きい物をご用意ください。
・**原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。**余白が多いとローラーに巻き付きやすくなり、フィルムづまりの原因となります。
・**ラミネート可能な厚みは、フィルムと原稿を合わせて最大0.6mmまでです。**
<u>ただし原稿の厚みが約0.3mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。</u>

⚠注意 **次のようなラミネートはシワの発生やフィルムづまりの原因となりますのでおやめください。**



最適なサイズのフィルムがない場合は

!! 最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後に不要な部分をカットしてください。

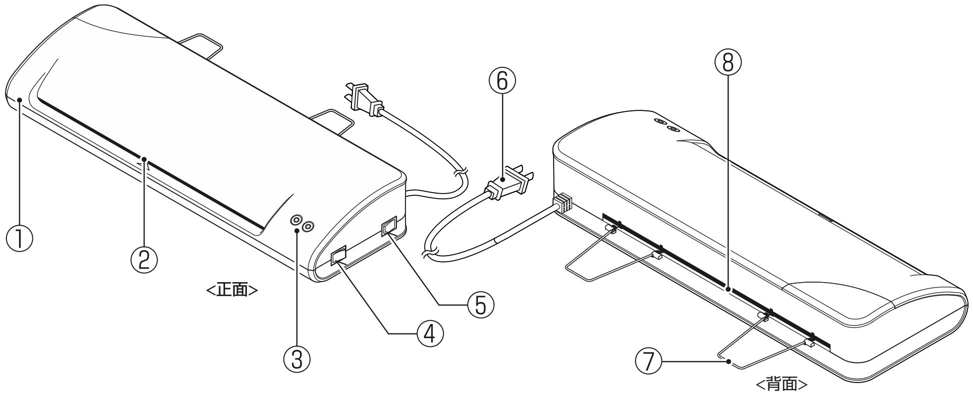


故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント

症状	原因／処置
・動かない ・POWERランプ（赤）が点灯しない	⟶ 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ⟶ 電源スイッチを押して「100μmまたは150μm」に合わせてください。 P.7
・READYランプ（緑）が点灯しない	⟶ 通常、ウォームアップ時間はフィルム厚の設定が100μmの場合は約40秒で点灯します。150μmの設定で室温が著しく低い場合は3分程度お待ちください。 P.8 ⟶ エアコンの冷風や扇風機の風が直接本機にあたらないようにしてください。
・ウォームアップの時間が40秒より長い	⟶ 室温は25℃以上の場合でも、本体内部は保管場所などにより25℃以下の可能性があります。そのような場合は、40秒でウォームアップが完了しないことがあります。READYランプ(緑)が点灯するまでお待ちください。
・ラミネートフィルムが入っていかない	⟶ 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？電源スイッチを「100μmまたは150μm」にしてください。 ⟶ フィルムと原稿を合わせた厚みが0.6mmを越えるとラミネートできません。 P.6
・ラミネートフィルムが途中で止まった（カタカタと異音がする） ・排出口から出てこない	⟶ 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ⟶ フィルムづまりが起きています。すぐに電源スイッチを「OFF」にし、ローラーフリーレバーをスライドさせた状態にして、フィルムを取り除いてください。 P.9
・フィルムの端が折れて出てくる	⟶ ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルムづまりの原因になります。 P.9
・ラミネートフィルムが汚れて出てくる（白い線が付く）	⟶ ローラークリーニングをしてください。 P.9 ⟶ フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取り、水拭きおよび乾拭きをしてください。ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
・フィルムがつまる	⟶ 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 P.6 ⟶ ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルムづまりの原因になります。 P.9 ⟶ 反っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルムづまりの原因になります。 P.6 ⟶ 必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないと正しくラミネートできません。 P.6

各部の名称と働き

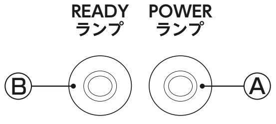
【本体】



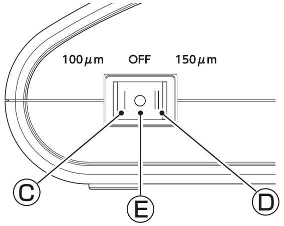
①本体
②フィルム挿入口（サイズ表示目安付）
③表示ランプ ※下図参照
④電源スイッチ ※下図参照
⑤リバーススイッチ ※下図参照
⑥電源プラグ
⑦ワイヤータイプトレー
⑧フィルム排出口（背面）

【操作部】

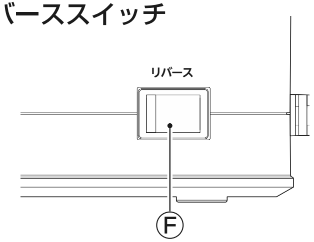
表示ランプ



電源スイッチ（3段階）



リバーススイッチ



Ⓐ POWERランプ＜赤＞
電源がONの状態になると点灯し、ウォームアップを開始します。

Ⓑ READY（適正温度）ランプ＜緑＞
ウォームアップが完了すると点灯します。

Ⓒ 電源スイッチ＜100μm＞
100μm側（I）に押すと、100μmフィルムに適した温度でウォームアップを開始します。READYランプ(緑)が点灯したらラミネートが可能になります。

Ⓓ 電源スイッチ＜150μm＞
150μm側（II）に押すと、150μmフィルムに適した温度でウォームアップを開始します。READYランプ(緑)が点灯したらラミネートが可能になります。

Ⓔ 電源スイッチ＜OFF＞
ⒸとⒹどちらでもない真ん中に合わせると、電源OFFの状態になります。

Ⓕ リバーススイッチ
押しているあいだローラーが逆転します。つまったフィルムを取り除く場合に使用します。

【 P.10「フィルムづまりのトラブル」参照】

本体のお手入れ

本体カバーは柔らかい布で乾拭きしてください。（中性洗剤・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。）

	お手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。
	機械に直接水をかけての掃除、ベンジン・シンナー・アルコール等は使用しないでください。
	本体カバーを取り外してのお手入れはしないでください。感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

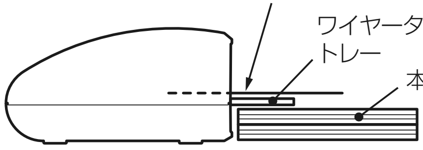
A：カラーコピー、インクジェットプリンタ・熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで作成した原稿はラミネートのいかんに関わらず時間経過により、像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

Q3：作業途中でフィルム選択を操作する場合は？

A：フィルム選択スイッチを直接押して使用するフィルム厚に合わせてください。
設定温度に満たない場合は、ウォームアップランプ（緑）が点滅します。しばらくすると再点灯します。再点灯した事を確認してからご使用ください。
※「150μm」から「100μm」に切り換える場合は、ローラーの表面温度が下がるまで少し時間がかかります。
※フィルム厚を変更したい場合は、本体にフィルムが入っていない時に行ってください。

Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが…

A：ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているので反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーの下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



⚠注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。

安全上の注意事項 安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を記載しています。以下に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。

⚠警告	この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、ケガを負う危険があります。禁止の内容を ⃠ の中に絵文字で示します。
	要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を ● の中に白抜き絵文字で示します。

!!	機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。

機械の設置上の注意事項

⚠注意 ●機械の設置上の注意事項

	次のような場所への設置は避けてください。 ・直射日光のあたる場所 ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所 ・ほこりや振動の多い場所 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
	機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり、機械の故障の原因となります。
	機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

⚠警告 ●機械のご使用上の警告事項

	表示された電源・電圧以外で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電の恐れがあります。
	熱に弱い敷物の上や、燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因になります。
	お子様や乳幼児の手の届く所に設置しないでください。やけど、感電の恐れがあります。